



(C)Lily-Arison Rene de Roland, The Peregrine Fund マダガスカルの人里離れた湖への挑戦的なミッションが世界で最も希少はマダガスカルメジロガモを絶滅から守るという活動で大きな結果を出しました。

News in Brief No.20

20-11-2009

バードライフ・ニュース概要 第 20 号

2009 年 11 月 20 日

フォレスト&バード(ニュージーランドのパートナー)カカポのヒナに‘ホウ’と命名:

フォレスト&バードが絶滅危惧 I A 類のカカポに前シーズン多くのヒナが孵ったことを祝って‘ホウ’と名付けました。前回の繁殖シーズンはカカポの繁殖が記録的で、33 羽のヒナが生き残り、カカポの総個体数がここ数十年では初めての画期的な 100 羽を超え、124 羽に達しました。

フォレスト&バードはスタッフとサポーターの間でカカポに命名する競技を行い、優勝した名前が‘ホウ’でした。この言葉は‘新鮮、最近、新しい’や‘羽毛’を意味します。またウエヌア・ホウ(コッドフィッシュ島)からも由来しており、この島はニュージーランドの主島でカカポに脅威を与えている移入捕食種からカカポのヒナが守られる沖合いの島です。カカポ再生計画はフォレスト&バード、保護局、リオ・テイントの共同プロジェクトで、カカポの個体数を絶滅の危惧がなくなる程度まで回復させることを目的にしています。

パタゴニア海の地図の発行:

ペンギン・アホウドリ・アシカやその他の海獣に焦点を合わせて衛星通信装置から送信された数十万の個体を記録して、野生生物保護協会(WCS)とバードライフ・インターナショナルは世界的に重要でありながらあまり知られていない南アメリカの海洋生態系であるパタゴニア海の地図を初めて明らかにしました。‘パタゴニア海地図帳—種と場所’と題されたこの新しい刊行物はこの生態系のために集められたものの中で最も正確な地図が収められており、沿岸から大陸棚から数百マイル離れた深海の餌場まで広がる主要な渡りの回廊を明らかにしています。英語とスペイン語で記載されたこの地図は漁

業の管理や油槽船のルート計画の作成などこの地域で考えうる政策決定に情報を提供する助けとしても利用できるでしょう。

世界で最も希少なカモを守る経過でヒナがうまく孵化した:

マダガスカルの人里離れた湖への挑戦的なミッションが世界で最も希少なマダガスカルメジロガモを絶滅から守るという活動で大きな結果を出しました。この絶滅危惧 I A 類の鳥は 2006 年に生物学者がマダガスカル北部の湖で 20 羽の成鳥を観察した再発見時まで絶滅したものと心配されていました。しかし最近の訪問では僅か 6 羽のメスが記録されただけだったことを受け、緊急な保護計画が始まりました。ダレル野性生物保護トラスト、カモ類および湿地トラスト、ハヤブサ基金、マダガスカル政府が共同でこのカモを本来の湿地環境に戻すことに期待して繁殖地を建設する計画を進めています。その結果、専門家チームが先ごろ 8 羽のヒナが孵ったと推定される卵の殻を集めました。「安全に鳥を捕獲することが今後 20-30 年の保護プロジェクトの第一歩です。」と WWT のピーター・クランスウィックは言いました。

フラミンゴが繁殖する島が危機に: 南アフリカ共和国の州都キンバリーにある世界的に有名なコフラミンゴが繁殖する島が失われようとしています。これはフラミンゴを救う会からの警告で、豪雨による水と下水のダムへの流入量の増加、および、隣接地の都市居住地の存在が原因です。一晩で 65mm の雨が降り、その大部分がカムファーズ・ダムに流入しました。「過去数日の間に数百羽のヒナや卵がおぼれ、流された可能性があります。」とバードライフ南アフリカ(南アフリカのパートナー)の理事マーク・アンダーソン博士は言いました。この状況はカムファーズ島のウェブサイトを通じて世界の数千人の人々が見ました。

フロリダのサンクチュアリが世界的に重要なことが認識されました:

オーデュボン協会(米国のパートナー)の所有する世界で最大のヌマスギ(別名ラクウショウ:落羽松)が自生するコークスクリュー湿地サンクチュアリがラムサール条約で国際的に重要な湿地としてリストに加わりました。公式指定ではこの重要な自然資源を外来種やヌマスギが重要な役割を果たしている不安定な水域での開発など多くの脅威から守る必要があることを強調しています。このサンクチュアリにはおよそ 200 種の鳥が生息しており、アメリカ最大のアメリカトキコウの繁殖コロニーがあることで有名です。